



*Nauticam*

**NA 1DXMKIII**

for Canon EOS-1D X Mark III

*Fisheye*

## 目次

|               |    |
|---------------|----|
| 安全にお使いいただくために | 3  |
| 事前チェック        | 5  |
| 仕様            | 5  |
| 各部名称          | 6  |
| <b>【取扱方法】</b> |    |
| ハウジングの開閉方法    | 8  |
| リークセンサー       | 9  |
| カメラのセッティング    | 11 |
| レンズポートの取り付け方  | 12 |
| ストロボについて      | 14 |
| ファインダーの交換     | 15 |
| ご使用前に         | 16 |
| メンテナンス        | 17 |
| 保証規定          | 19 |
| 保証書           | 20 |

### \*取扱説明書について




- 本書の内容につきましては、予告なく変更させていただくことがあります。
- 本書の内容について万一、誤り、記載漏れ、印刷ミス、不明な点などございましたら、恐れ入りますが弊社、もしくはお近くの販売店までご連絡をお願いいたします。
- 本説明書の一部もしくは全ての転載、コピーなどは個人でご使用になるもの以外一切認められません。

## 安全にお使いいただくために

- この説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
- 誤った使い方をされますと、カメラ、ハウジングの故障や水没の原因となり、修理不能となるおそれがあります。
- ご使用の際は、必ず事前の点検、テストを実施してください。
- カメラの水没、故障、データの消失による補償や、分解、改造、修理に伴う事故などに関し、弊社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。また、使用時の人身、物損事故に関しての補償はいたしかねます。
- 本製品はアルミ削り出し工法により製作されております。そのため、多少の傷、切削目が散見される場合がありますが、動作には支障ありません。このような工法上のクレームはご容赦願います。

## 安全上の注意

以下に表示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつくおそれがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

-  **危険** 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
-  **警告** 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
-  **注意** 取扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

### 危険

- 本製品の改造・分解は絶対におやめください。水没や発熱、発火の原因になります。
- 本製品を水中で使用する際は、水深や潜水時間に十分ご注意ください。水中撮影に没頭しすぎると重大な潜水事故につながる危険性があります。

### 警告

- 本製品を乳児、幼児、小さなお子様など、本製品の安全上の注意について理解できない人の手の届く場所に保管しないでください。落下によるケガ、リングによる窒息、小さな部品を飲み込むなど、事故の原因となります。
- 本製品を長期間使用されない時はカメラ本体を取り出してください。カメラ本体の電池のトラブルなどによる発火のおそれがあります。
- 本製品は樹脂製素材を使用しております。強い衝撃や圧迫によって破損した場合、破片や割れた部分によるケガをするおそれがあります。
- 本製品付属のリングやグリスなどは食べられません。

**!** 注意

- 本製品は100mの水深まで耐えられるように設計されています。それ以上深い場所で使用されたり、浅い深度においても衝撃や圧迫を加えると、破損や浸水のおそれがあります。
- 浸水や故障などの事故を防ぐために、本製品の使用前後には必ず点検とメンテナンスを実施してください。
- 気温が異常に高くなる、あるいは低くなる場所、極端に大きな温度変化がある場所などに本製品を置いたり、保管したりしないでください。部品が劣化し、本体の破損や防水機能を損うおそれがあります。
- 砂や塵、ほこりなどが多い場所でハウジングを開閉すると、異物が付着することで防水性能が損なわれ、浸水の原因となります。
- 飛行機で移動する場合などは、本体のOリングを外しておくことをおすすめします。気圧の変化でハウジングが開かなくなったり、その状態で無理に開こうとすることで本体の破損やケガをするおそれがあります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの有機系溶剤は、破損や変形の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 万一、浸水が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。また、浸水している場合、ハウジング内部の圧力が高くなっていることがあります。ハウジングを開ける際、水が噴き出したり、本体が跳ねたりするおそれがありますので、十分にご注意ください。
- 本製品は樹脂製素材を使用しています。使用中に岩などにぶつけて強い衝撃を与えると破損するおそれがあります。
- ダイビングのエントリー方法によっては製品に衝撃を与え、浸水や破損の原因となります。とくにボートダイブではエントリー後に船上から手渡してもらうなど、エントリー時の取扱には十分注意してください。
- ハウジングを開閉する際、ほこりやゴミの付着に注意してください。Oリングの破損から浸水が発生するおそれがあります。
- ご使用前には必ずOリングのメンテナンスを実施してください。とくにグリスアップを怠ると、Oリングのねじれや劣化につながり、浸水するおそれがあります。
- ハウジングの内部をよく乾燥させた状態でご使用ください。水分が残っていると結露が発生するおそれがあります。使用環境、温度差、湿度により結露が発生する場合は、弊社製品の『FIXシリカシート』または『リークインシュア』のご使用をおすすめします。
- ご使用前に直射日光の当たる場所に放置しないでください。ハウジング内部の温度が高くなった状態で水に浸けると、急激な温度変化により結露が発生するおそれがあります。

## 事前チェック

- この取扱説明書は、お客様がすでにCanon EOS-1D X Mark IIIの使用方法を習熟されていることを前提に作成されています。もし、まだカメラ本体の使用に不慣れであれば、本製品の使用前にカメラ本体の説明書を熟読いただきますようお願いいたします。
- 本製品を開梱する前に輸送時のダメージをご確認ください。もし梱包に異変があれば、お届けの配送業者あるいはご購入いただいた販売店にご連絡ください。
- 本製品は出荷前に耐圧検査を実施していますが、輸送時に何らかのトラブルが発生する場合があります。水中での使用前に、カメラを装填しない状態での浸水テストを強くおすすめいたします。
- ご使用前に付属品がすべてそろっているかご確認ください。

## 仕様

|         |  |
|---------|--|
| 対象カメラ   | Canon EOS-1D X MarkIII   |
| 最大水深    | 100m(*各ポートの耐圧深度にご注意ください)   |
| 材質      | アルミ合金<br>耐摩擦性ポリカーボネイト、ゴム等  |
| サイズ(本体) | W365 x H237 x D140mm   |
| 重量      | 陸上3,520g(ハウジングのみ)  |
| 付属品     | ダイレクトベースx2<br>スペアOリング<br>Oリングリムーバー<br>Oリンググリス<br>CR2450電池<br>六角レンチセット<br>ボディキャップ<br>取扱説明書(保証書) |

## 各部名称



ボタンの詳細な説明はカメラの取扱説明書をご覧ください。



## 取扱方法

### ハウジングの開閉方法

\*以下の操作は湿気やほこりの少ない清潔なところで行ってください。

#### 【開け方】

1. フロントケースを下にして、平らな面の上に置きます。
2. リアケースの左右にあるセーフティボタンを押しながら、インナーロックレバーを外側に開くとロックが外れます。



#### 【閉め方】

1. OリングとOリング接地面にゴミなどの付着物がないか確認し、フロントケースとリアケースを合わせます。
2. 左右のインナーロックレバーを同時に内側に倒します。



#### **!** 注意

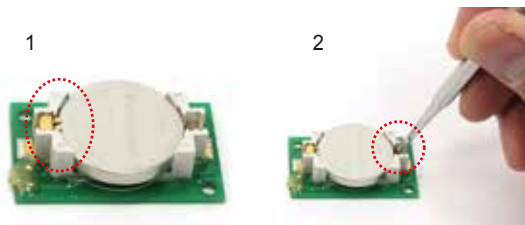
ハウジングを閉じた状態で、Oリングの挟み込みなどがないか、必ず全周を見わたして確認してください。



## リークセンサー

### 【リークセンサー用リチウム電池の着脱方法】

1. 電池を取り付ける際は、先に電池を押さえ爪の下に差し込んでから反対側をはめ込みます。
2. 電池を取り外す際は、押さえ爪の反対側の隙間に-(マイナス)の精密ドライバーなどを差し込んで引き起こします。



ノーティカムハウジングにはリークセンサーが標準装備されています。万一、ハウジング内に浸水が発生した場合、音とLEDの発光で知らせます。ご使用前に以下の手順でセンサーの状態を確認してください。

1. 付属のCR2450電池をリアケース内側の電池ボックスにセットして、アラームのスイッチを入れます。(図1)
2. 電池が正常であれば、LEDが青色に点灯し、5秒後にゆっくりとした点滅を開始します。(スタンバイモード)※通常はそのまま青色LEDが点滅した状態で使用します。
3. センサーの2本のワイヤーを軽く湿らせた綿棒で触ってみてください。(図2)アラーム音が鳴ってLEDが赤く点滅すれば異常ありません。その後、乾いた布などでワイヤー表面を軽く拭いてください。アラーム音とLED点滅は、拭き取り後も5秒間続きます。

※電池が消耗している場合は、LEDが青色と赤色の交互に点灯します。(セーフモード)

※ただちに電池の交換が必要な場合は、LEDが赤色に点灯します。



リークセンサースイッチ



リークセンサー端子

## バキュームリークセンサー

本製品はオプションの『NA/バキュームバルブ』の追加装備によって「バキュームリークセンサー」のフルシステムを組むことができます。バキュームリークセンサーとは、ハウジング内部を引圧にして真空圧をモニターすることによって、陸上にカメラをセットしたまま防水性を確認できるシステムです。ハウジング内部にセットされた「センサー本体(圧力センサーユニット/LEDインジケーター)」とアクセサリポートに装填される「バキュームバルブ」の2つのパーツから構成されます。本製品にはセンサー本体が標準装備されています。

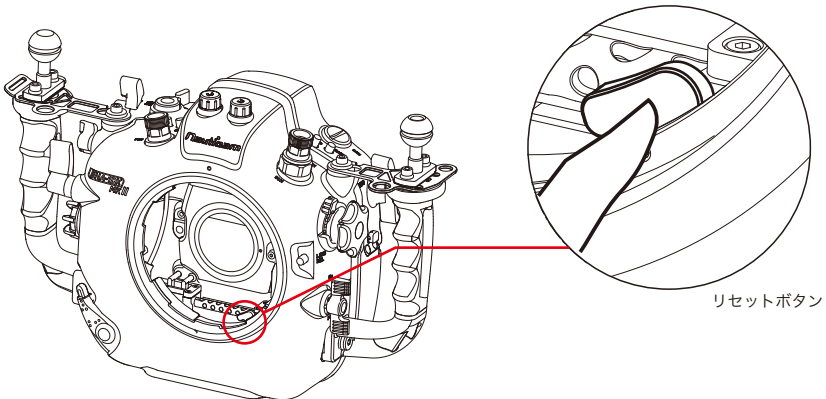
対応バキュームバルブ:M14/M16

※取り付けはハウジングのお預かり作業となります。

※ニコノスシンク口コネクター仕様の場合、対応バルブはM16となります。

### 【ポート/レンズ交換時におけるバキュームリークセンサーのリセット】

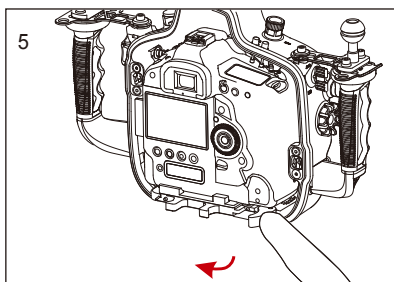
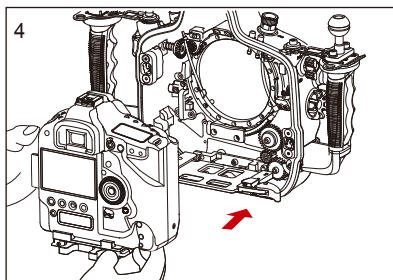
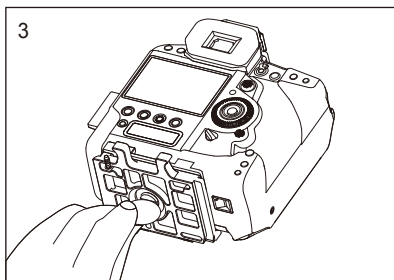
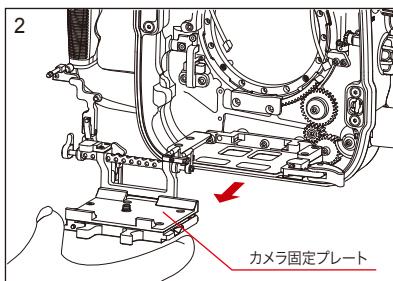
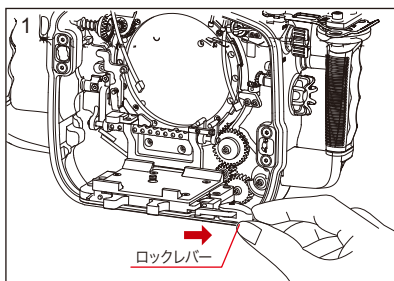
- 1.バキュームリークセンサー使用中はハウジングに引圧がかかっているため、ポートを交換する際は先にバキュームバルブを開けて空気を吸い込ませます。リークセンサーのLEDが黄色の早い点滅に変わります。
- 2.LEDが赤色の早い点滅に変わったら、ポートとレンズを取り外します。
- 3.カメラ固定プレート前面の青いリセットボタンを押してバキュームリークセンサーをリセットします。正常に作動すればLEDが青色に点灯し、5秒後にゆっくりとした点滅を開始します。(スタンバイモード)
- 4.レンズとポートを取り付けます。



## カメラのセッティング

\*カメラ本体のファインダー部に付いているアイピースやアイピース用オプションアクセサリ、モニターカバーなどを取り外して下さい。

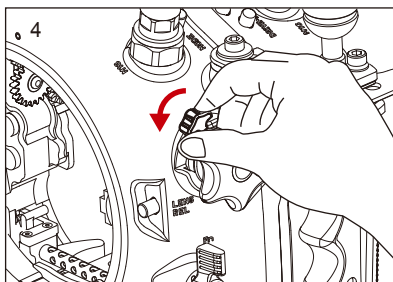
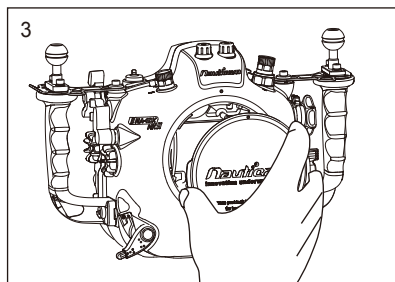
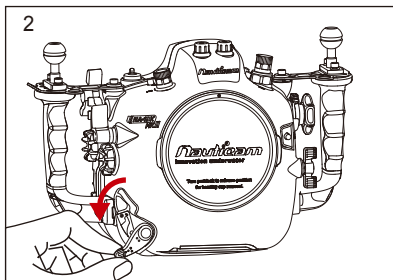
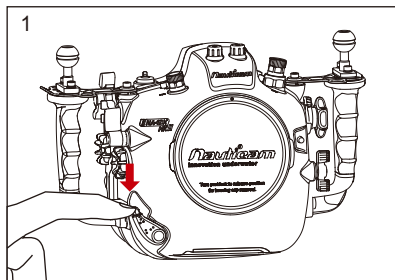
1. フロントケースの下側にあるロックレバーを→の方向に回します。(図1)
2. ハウジングからカメラ固定プレートを取り外します。(図2)
3. カメラをコインなどで固定プレートに取り付けます。(図3)
4. カメラ固定プレートをフロントケースのレールに沿って奥まで差し込みます。(図4)
5. ロックレバーをLOCKの位置に戻し、ハウジングのリアケースを閉めます。(図5)
6. カメラが正しく動作するか確認します。



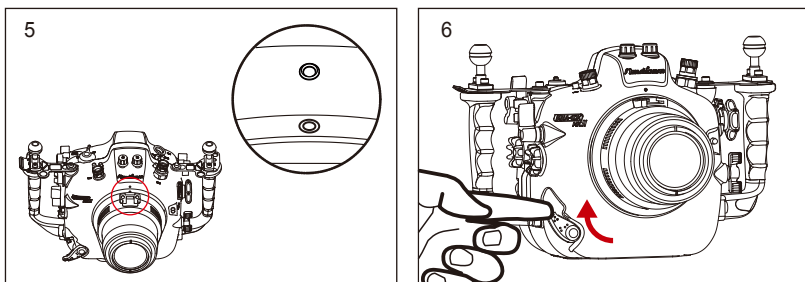
## レンズポートの取り付け方

弊社カタログまたはWEBサイトの「ノーティカムシステムチャート」をご覧になり、対応可能なポートをご確認ください。エクステンションリングが必要となるレンズもありますのでご注意ください。他社製のポートを取り付ける場合は、対応するポートコンバーターをお求めください。

1. ポートリリースレバーのセーフティボタンを下側に押しします。(図1)
2. ポートリリースレバーを外側に回してください。(図2)
3. 付属のボディキャップを外します。(図3)
4. レンズを着脱する際は、ズーム/フォーカスギアリリースレバーを下げて、レンズに取り付けたズーム/フォーカスギアがハウジング本体のギアと干渉しないようにします。レンズを取り付けた後は、ズーム/フォーカスギアリリースレバーを戻してギアが正しくかみ合っているか動作確認をしてください。(図4)



- ハウジングのポート開口部に汚れや異物が付着していないこと、Oリングの溝にゴミなどが付着していないことを必ず確認してください。
- ポートからOリングを取りはずし、傷がないか確認します。付属のグリスを薄く伸ばした後、ポートの溝にはめ込みます。
- ポートとハウジングの取り付け指標を合わせて、ポートをゆっくりと奥まで押し入れます。(図5)
- ポートリリースレバーを起こし、ポートをロックしてください。カチッという音がしてレバーが固定されたことを確認してください。(図6)



**▲ 注意**

逆光での撮影時、ポート内のレンズやギアなどの反射がポートのガラスに写り込む場合があります。その際は写り込みのない位置で撮影してください。

## ストロボについて

### ストロボシステムの接続

ノーティカム1DMKIIIハウジングへストロボを接続するには、

- A) 光ファイバーコネクタに光ケーブルを接続
  - B) ニコノスタイプのコネクタ(オプション)に電気接続
- の2つの方法があります。

#### A) 光ケーブル接続

カメラの内蔵ストロボ光をコマンダーとして、光ケーブル経由で外部ストロボへ信号を発信します。

#### B) ニコノスタイプコネクタ接続

別売の『NAニコノスタイプコネクタ』とコネクタ取付工賃が必要です。販売店または弊社カスタマーサービス TEL.03-5988-0191までお問い合わせください。

### NA TTLコンバーターCanon(オプション)

TTLオート調光に対応したフラッシュトリガーです。

サイズ:70 x 47 x 28mm

重さ:44g(バッテリー含む)

対応ストロボ:INON Z240 type4、D2000 type4、S2000

SEA&SEA YS-D2、YS-D1

使用バッテリー:Canon NB-13L

発光回数:約1,000回

## ファインダーの交換

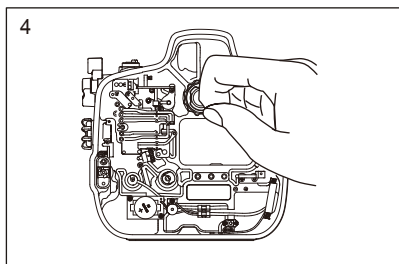
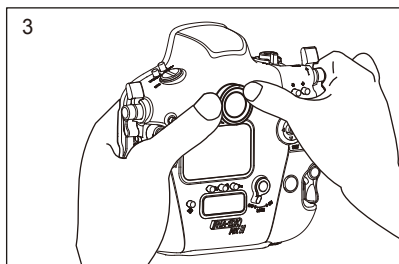
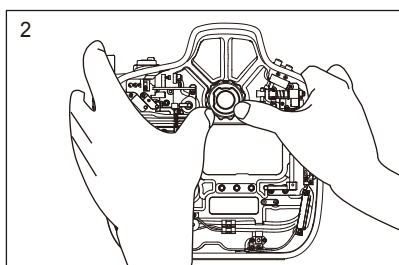
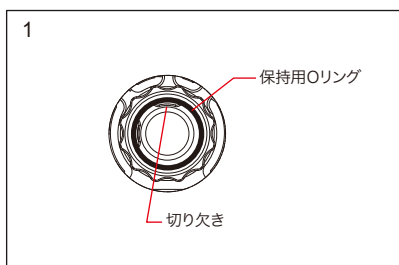
ノーティカムハウジングにはピックアップファインダーが標準装備されています。下記の手順で簡単に交換が可能です。

### 【ピックアップファインダーの取り外し方】

1. ファインダーのハウジング接続部の切り欠きを利用して、リアケースの内側から保持用Oリングを外します。(図1)
2. ハウジング内側からファインダーを軽く押します。(図2)

### 【ピックアップファインダーの取り付け方】

1. 背面ウインドウ部のファインダー取付穴にファインダーを押し込みます。
2. リアケースの外側からピックアップファインダーを押し込み、いっぱいまで押し込みます。(図3)
3. リアケースの内側から保持用Oリングをはめ込みます。(図4)



### ⚠ 注意

ファインダーに取り付けるOリングは、取付前に必ずグリスアップを行ってください。ファインダー保持用Oリングは、グリスアップしないでください。ファインダー交換の際は、OリングやOリングの溝、Oリングの当たり面にゴミや傷がないか必ず確認してください。ファインダーを外した状態のまま、絶対に水中で使用しないでください。

## 浸水テスト

### ご使用前に

1. カメラを装填する前に、空の状態のハウジングを実際に使用する深度まで沈めて浸水の有無を確認してください。
  2. ハウジングの浸水事故は、おもに以下のケアレスミスが原因です。
    - Oリングの付け忘れ。
    - Oリングが溝に正しくはまっていない。
    - Oリングにキズ、ひびがある。または変質、変形している。
    - Oリングの溝もしくは接触面に、砂やゴミ、髪の毛などが付着している。
    - Oリング接触面やOリングの溝に傷がある。
    - カメラが正しい位置にセットされていない。
    - ハウジングを閉じる際にストラップや除湿剤などを挟み込んでしまう。
- ※ハウジングに水漏れがある場合、上記の原因を取り除き再度テストを行なってください。

#### 注意

事前テストは実際に使用する深度での実施が最適です。ただ、その深度を確保するのが難しく、より浅い深度での浸水テストとなっても、必ず実施してください。事前テストを実施したにもかかわらず浸水が確認される場合は、製品の使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサービスまでご相談ください。

### ダイビング前のチェック

ダイビングでご使用になる前に、以下の最終チェックを必ず実施してください。

1. 水を張ったカメラ洗い桶に(なければ水面にて)、ハウジングを水平の状態できちんと水に沈めます。
2. 最初は3秒間水に入れ、ハウジング本体から気泡が上がってこないか確認します。Oリングの付け忘れやストラップなどの挟み込みがあれば、わずか3秒でも浸水します。
3. 同様に30秒/3分とチェックを行います。
4. ハウジング本体から継続的に気泡が上がる場合は使用を中止し、再度Oリングのチェックをしてください。

#### 注意

ハウジングを持ったままボートや高所からエントリーするなど、ハウジングの一方に強い水圧がかからないよう注意してください。浸水のリスクが高まります。



## メンテナンス

### Oリングのメンテナンス

1. 本製品付属のOリングリムーバーを、Oリングと本体の溝の間に差し込みます。
2. Oリングリムーバーの先端でOリングを引っ掛け、溝からOリングを外します。
3. OリングとOリング溝に付着した砂、塩、古いグリスを除去します。Oリング溝は綿棒などを  
使うときれいに清掃できます。指の感触や目視によってキズやひび割れなどをチェックしま  
す。
4. もしキズやひび割れなどがある場合はOリングを交換します。
5. 本製品付属のシリコングリスを米粒大ほど指先に取り、3本の指で挟むようにOリング全体  
に均一に塗ります。その際、力を入れてOリングを引っ張らないようにしてください。グリス自  
体には防水性はありませんが、グリスの量が少ないとOリングが溝の中で部分的にねじれ、  
浸水の原因となります。
6. Oリングを溝に収めます。その際、Oリングがねじれたり、はみ出したりしないよう注意して  
ください。
- 7.ハウジングを閉じる際に、もう一度Oリング面とOリング接触面を目視および指でなぞって、  
ゴミや髪の毛などの付着がないか確認します。

#### ⚠ 注意

- Oリング面に小さな傷やひび割れなどがある場合、そのOリングは絶対に使用せ  
ず、すぐに新しいOリングと交換してください。
- Oリング溝、またはOリングが当たる接触面にも砂や小さなゴミ、髪の毛などが  
付着していないか必ず確認してください。また、傷やひびなどがないかしっ  
かり確認してください。
- OリングやOリング溝、Oリング接触面のチェック、グリスアップは、ハウジング開  
閉時に毎回実施してください。
- 本製品のOリングはシリコンタイプを使用しています。グリスアップは必ず付属の  
Oリンググリスを使用してください。付属のグリス以外を使用するとOリングが膨  
張し、防水性能を損ないます。

#### NOTE

別売の『FIXメンテナンスキット』をご使用いただくと、効果的に機材のメンテナンス  
を実施することができます。

#### ZINC ピース

ハウジング底面のZINC(亜鉛)ピースは、錆や腐食によるボディの劣化を軽減しま  
す。使用を重ねるうちに徐々に融解していきますので、適宜交換してください。

## 使用後のメンテナンス

海で使用した後は以下の手順で塩分を洗い流してください。

1. 真水を溜めたカメラ専用の洗い桶や洗面器などにハウジングを浸けます。
2. 各レバーやボタンを真水の中で操作し、塩分を洗い流します。
3. できれば、10～20分間、洗い桶に浸しておきます。
4. 真水から上げたら、弱い流水で洗ってください。強い水流を一定方向から当てると浸水の原因となりますので、絶対におやめください。
5. 水洗い後は、乾いたやわらかい布等で水気をよくふき取ってください。
6. また、必ずご自宅に戻ってからのお手入れも実施してください。後のトラブルにつながるおそれがありますので、現地での塩抜きのみでメンテナンスを終了させないでください。
7. 長期間使用しない時は、付属のシリコングリスをOリングに薄く塗ってから保管してください。Oリングは1年毎に交換されることをおすすめします。また、ご使用頻度により2、3年に1度のオーバーホールをおすすめします。

### ⚠ 注意

- 洗い桶に浸している時には、絶対にハウジングの開閉はしないでください。
- 海で使用後に放置すると、細かいすき間に残った塩分が結晶となり、水に溶けなくなってしまう。結晶化した塩分はOリングを押し上げ、浸水の原因となります。
- 使用後はハウジングの接合部などに水滴が残っています。ハウジングを開けた際の水滴、髪の毛やウエットスーツからの水滴にご注意ください。
- 炎天下での直射日光による乾燥や、ドライヤーなどによる乾燥は、故障や変形、破損の原因となりますので絶対におやめください。
- ハウジングを直射日光の当たる場所に放置しないでください。また、真夏の車内など高温になる場所への放置、保管はおやめください。内部温度の上昇により、ハウジングやカメラ本体の故障の原因となります。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性有機溶剤や化学洗剤でハウジングをクリーニングしないでください。

### NOTE

ダイビングサービスの洗い桶の状況によっては、他の機材の塩分によって十分な塩抜きができないことがあります。また、僻地や船上など十分な真水の確保が難しい環境もあります。そのような場合は『FIXメンテナンスキット』同梱の『ソルトアウェイ』のご使用をおすすめします。

## 保証規定

当社は、取扱説明書の注意事項にしたがったお取り扱いにより本製品が万一故障した場合、お買い上げ日から満一年間無料修理をいたします。ただし、業務用途でご使用の場合には90日間の保証となります。浸水等によりご使用のカメラに損害が生じた場合、いかなる理由でも、カメラ本体に対する補償はございません。ご使用になるカメラ本体には「保険」をおかけいただくなど、ご使用者ご自身での対処をお願いいたします。また、本製品の故障に起因する付随的損害(ダイビングや撮影に要した旅行費用等の諸費用、及び撮影により得られる利益の喪失など)については保証しかねます。また、保証期間の内外によらず修理時の運賃、諸掛かりはお客様においてご負担をお願いいたします。

保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。

1. 使用上の誤り(取扱説明書の取扱上の注意事項等以外の誤操作等)により生じた故障。
2. 当社以外で行われた修理、改造、分解等による故障。
3. お買い上げ後の輸送、落下、衝撃等による故障及び損傷。
4. 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変、公害による故障及び損傷。
5. 保管上の不備(高温、多湿の場所、有害薬品のある場所での保管)や手入れの不備等による故障。
6. 砂・泥・水かぶり等が原因で発生した故障。
7. 保証書のご提示がない場合、または保証書の記載事項を訂正された場合。
8. 保証書にご購入年月日の記載が無い場合。

\*本製品の故障に起因する付随的障害(撮影に要した諸費用や逸失利益等)については保証いたしかねます。

保守パーツは製造打ち切り後、5年間在庫しております。

また、当製品にはボタンやスイッチ部分にOリング等消耗品が使われております。2年ごと、もしくは長期間ご使用になられなかった場合、オーバーホール(有償)をおすすめします。

## 保証書

お名前

ご住所 〒

TEL

|      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 購入日  | 年 月 日から1年間                      |
| 品名   | Canon EOS-1D X MarkIII対応防水ハウジング |
| 品番   | NA 1DXMKIII                     |
| 製造番号 |                                 |
| 販売店名 |                                 |

\*必ず販売店名印を押して下さい。

「販売店名印」「購入日」の記入をご確認ください。

記入無き場合は無効となりますので、直ちにお買い上げ店までお申し出ください。

本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

株式会社フィッシュアイ 〒171-0052 東京都豊島区南長崎5-29-7 TEL:03-5996-5637 FAX:03-5996-7202

**www.fisheye-jp.com**

**E-mail:info@fisheye-jp.com**



ご購入後のメンテナンス・修理等は株式会社フィッシュアイにて承ります

▶ フィッシュアイカスタマーサービス



03-5988-0191



cs@fisheye-jp.com